

「現代の名工」受章 (厚生労働大臣表彰)

読売新聞 2007年10月31日(水)29面 地域滋賀版

製菓製パン 2008年2月号 P265

現代の名工 県内2人

卓越した技能者を顕彰する年度の「現代の名工」が発表され、県内からは、ヤママー(長浜市)の金屋正樹機械組立工、三保繁美さん(長浜市)と、和菓子製造(たねや)社長の山本徳次さん(東近江市)が選ばれた。31日、東京都内で表彰式が行われる。

エンジン工作機械を開発

ヤママー社員
三保 繁美さん 57歳 (長浜市)

「先陣が先導して、後進が追いついていく」という信念をもち、自らも技術を磨き、現場の仲間たちと共に、ものづくりに取り組んでいく。42年間、エンジン部品を製造する。

和菓子に斬新なアイデア

たねや社長
山本 徳次さん 67歳 (東近江市)

「和菓子を斬新なアイデアで新しいものを作りたい」という思いをもち、独自のスタイルを生み出した。和菓子の魅力を最大限に引き出すために、和菓子に斬新なアイデアを盛り込み、新しい和菓子を開発している。

「現代の名工」は、卓越した技能者を顕彰する制度で、今年度は、県内から2人が選ばれた。山本徳次さんは、和菓子製造(たねや)社長の山本徳次さん(東近江市)と、三保繁美さん(長浜市)が選ばれた。

たねや・山本徳次社長が受章

『現代の名工』(卓越技能章)

昨秋10月31日、表彰式典行われる

厚生労働省の技能者表彰規程(昭和四十二年労働省告示第三八号)に基づき、平成十九年度の卓越技能章「現代の名工(通称)の表彰式が、昨秋十月三十一日、同省の式典場において執り行われた。

この卓越技能章(現代の名工)は、卓越した技能を持ち、その道の第一人者を表彰する制度で、今現在、技術関係では最も権威のある章である。その栄えある大臣章に、和菓子製造の山本徳次社長が輝いた。

今回の受章は、長年に渡り、和菓子製造に従事し、従来の和菓子職人の伝統と格式を守りながらも、新しい技術開発、革新的な菓子の考案とともに、菓子職人訓練校を設立し、次代を担う後進の育成等に尽力してきた事が評価されたものである。

加えて、昨秋は「たねや菓子職人訓練校」(山本徳次校長)としても、滋賀県より、平成十九年度の認定職業訓練および技能検定・技能振興に関する優良事業所として県知事表彰を受けている。これは、職業訓練の普及および振興に貢献した事が、地元で認められたものである。

▶式典場で表彰状と卓越技能章(種と賞状)を授与され、記念のワン・ショット

中日新聞 2007年10月31日(水)21面滋賀総合

「現代の名工」県内から2人



三保 繁美さん
(長浜市)

金属工作機械組立工



山本 徳次さん
(東近江市)

和菓子製造

厚生労働大臣が現役で活躍する国内最高水準の技能者を表彰する本年度の「現代の名工」に、県内から2人が選ばれた。表彰式は三十日、東京都で行われる。(勝山友紀)

ヤママー小型エンジン事業本部(長浜市)の金屋正樹機械組立工三保繁美さん(57)と、和菓子製造(たねや)社長山本徳次さん(67)が選ばれた。三保さんは約四十年間、エンジン部品を加工する機械装置の製作や調整にかかわった。生産効率と品質の向上に貢献し、一九九九年には、中央職業能力開発協会から「高度熟練技能者」に認定されている。山本さんは、一八七二年創業の老舗和菓子店の三代目として、和菓子の製造に従事。独自の生菓子を開発し、同社の職業訓練校で後進の指導育成に貢献している。

名工の表彰は、一九六七年から毎年実施。本年度は、各都道府県から四百四十人の推薦があり、百五十人が選ばれた。

毎日新聞 2007年10月31日(水)25面滋賀版

「現代の名工」県内から2人

山本徳次さん(たねや) 三保繁美さん(ヤママー)

今年度の卓越した技能者「現代の名工」の被表彰者が31日、発表され、県内からは、和菓子製造(たねや)グループ(東近江市)の山本徳次さん(67)と、金属工作機械組立工(ヤママー)の三保繁美さん(57)が選ばれた。

現代の名工は、最高水準の現役の技能者を表彰することで、広く社会に技能を尊重する風潮を醸成させ、青少年が誇りと希望を持って、その職業に精進する機運を高めるのが狙い。

山本さんは和菓子製造に従事し、伝統と格式を守りながら、独自の製品を開発するとともに、職業訓練校の設立当初から後進の育成に尽くした。

一方三保さんは長年、機械加工や組立に従事して工具、機械装置の製作などで優秀な技能を発揮し、生産効率や安全・品質の向上と、後進の指導に貢献した。

表彰式は31日、東京都港区の明治会会館で行われる。

